

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家地区管渠築造事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	粕谷 高佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	01	下水道の整備				
事業の目的	公共下水道（氏家処理区）計画区域内の市民が、下水道を使用できるようにする。						
事業の概要	氏家処理区内の下水管渠工事等を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	全体計画面積に対する整備率	%	92	93	93.5	94.5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業計画に基づき計画的に整備している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家水処理センター増設事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	粕谷 高佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	01	下水道の整備				
事業の目的	増加する流入汚水を処理するため、氏家水処理センターの施設能力を増加し、流入汚水を処理できるようにする。						
事業の概要	氏家水処理センターの流入水の増大に対応するため、全体計画に基づき、増設等の設計及び工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	施設能力に対する晴天日最大流入量	%	100	80.0%	81.5%	83.0%
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	工事実施計画に基づき予定どおり令和2年度で汚泥処理設備の増設が完了し、供用を開始した。 汚水処理能力が6,350m ³ /日から8,345m ³ /m ³ に増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特定環境保全管渠築造事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	粕谷 高佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	01	下水道の整備				
事業の目的	特定環境保全公共下水道計画区域内の市民が、下水道を使用できるようにする。						
事業の概要	特定環境保全区域内の下水道管渠工事等を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	全体計画面積に対する整備率	%	55.7	57	60	62
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業計画に基づき計画的に整備している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川地区管渠築造事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	粕谷 高佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	01	下水道の整備				
事業の目的	公共下水道（喜連川処理区）計画区域内の市民が、下水道を使用できるようにする。						
事業の概要	喜連川処理区内の下水道管渠工事等を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	全体計画面積に対する整備率	%	42.9	43.6	44	45
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業計画に基づき計画的に整備してる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	管渠等維持管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課			担当者	粕谷 高佳		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	02	施設の維持管理				
事業の目的	下水道施設が適正に機能し、円滑な水処理ができるようにする。 不明水率を低下させて、効率的な水処理を行う。						
事業の概要	①下水道台帳の作成②下水管を点検調査し、必要に応じ清掃・修繕を行う。③下水管の流量測定業務を行い、不明水の多い地区を特定し、不明水の原因や浸入箇所を探し出す。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
		管渠閉そく等不具合件数	件	0	0	0	
		有収率（処理場流入量に対する有収水量の割合）	%	88.35	89.6	90	90.5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	管路点検計画に基づき調査・作業を実施し、損傷箇所の補修を行い不明水対策を講じた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	水処理センター長寿命化事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	粕谷 高佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	02	施設の維持管理				
事業の目的	効率的な長寿命化を行うことにより汚水処理を安定的に行えるようにする。						
事業の概要	氏家水処理センター（H5. 3. 31供用開始）、喜連川水処理センター（H14. 3. 6供用開始）の適正な長寿命化を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度実績	2年度実績	3年度計画	4年度計画
	成果	施設正常運転割合	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	下水道長寿命化計画に基づき計画どおり氏家水処理センターの水処理設備及び汚泥処理設備の長寿命化（更新）工事を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	受益者負担金等徴収事務			事業開始年度	平成26年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	田代 宏			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	03	下水道事業の安定経営				
事業の目的	健全な下水道事業の推進および運営						
事業の概要	受益者負担金：当該利益を得る者に対し、事業費の一部を負担してもらう。 下水道使用料：使用状況に応じ、適正な使用料を徴収する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	受益者負担金の当年度徴収率（現年度分）	%	99.8	99.9	100	100
	成果	下水道使用料の当年度徴収率（現年度分）	%	97.7	98	98	98
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受益者負担金の徴収率については、管路工事着工前の各戸訪問により理解を得ることができたため、令和元年度に比べて0.1ポイントの増加となった。 下水道使用料の徴収率については、日頃からの地道な徴収事務の遂行により、令和元年度に比べて0.3ポイントの増加となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	水洗化促進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	田代 宏			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	06	良好な水資源を保全する下水道の整備				
	基本事業	03	下水道事業の安定経営				
事業の目的	供用区域内の下水道への接続推進。						
事業の概要	供用区域内等の住民への効果的な啓蒙普及および利用促進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	水洗化率	%	92	91.3	92	92.5
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度は令和元年度と比べて0.7ポイント減少したものの、管路建設等に伴う公共汚水ますの設置箇所数が大幅に増加したことに伴う一時的なものである。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		